

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

| 達成度（評価） | |
|---------|-------------|
| A | 十分達成できている |
| B | おおむね達成できている |
| C | やや不十分である |
| D | 不十分である |

| | |
|------------------|---|
| 1 前年度 評価結果の概要 | <p>・学校全体として、落ち着いた毎日を送ることができた。職員一人一人が自分の役割を責任をもってやり遂げた結果であったと考える。また、役割以外の部分でも助け合い支え合いながら、風通しのよい職員間の雰囲気がそうさせたと感じる。加えて、具体的な到達目標を立てたことで取り組みやすくなったと思う。</p> <p>・来年度も集中豪雨や台風・地震等の自然災害等が、予測される。また、不審者事案や交通事故への対応は、常時危機意識をもってレベルアップしていく必要があり、安心安全な学校運営に全職員一丸となって取り組んでいきたい。とりわけ、保護者、地域との連携を密にすることがより重要になってくると考える。</p> |
| 2 学校教育目標 | ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成 |
| 3 本年度の重点目標 | ①学力の向上 ②心の教育の充実 ③健康・体づくり ④開かれた学校 ⑤安全・安心な学校 ⑥特別支援教育の推進 |

| 4 重点取組内容・成果指標 | | | | 中間評価 | | 5 最終評価 | | 主な担当者 | | |
|------------------------|--|---|--|-------------|----------|-------------|------|-------|---------|---------|
| (1) 共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | | 学校関係者評価 | |
| 評価項目 | 重点取組 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | | | 評価 |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ●学力向上対策評価シートに示したマイルプランの成果指標を達成した教師90%以上 | ・学び部と研究推進委員会が連携をとり、[スキルタイム]と授業研究会が効率的に機能するようにする。 ・児童の学習状況の分析を行い、児童に身に付けさせたい力を明確にする。 | | | | | | | 学び部 |
| | ○児童の家庭学習の習慣化 | ○家庭学習時間の学年目標達成率90%以上 | ・「親学・子学」を活用し、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図る。 | | | | | | | |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○「自分の学校が好き、楽しい」という児童の割合90%以上 | ・道徳の時間を中心にして愛校心に関する指導を積極的に行う。 ・学校の魅力や自分たちの長所を考える授業を工夫して実践する。 | | | | | | | 心づくり部 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○いじめの防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上 | ・毎月1回、「なかよしアンケート」を実施し、予防的支援に努める。 ・QUテストを2回を実施し、研修会をもち、比較分析を行い、学級経営に生かす。 | | | | | | | |
| ●健康・体づくり | ●望ましい生活習慣の形成 | ○ハンカチ、ティッシュの所持率、マスク着用率90%以上 | ・点検表やカード等を整備し、意識の向上を図り、向上した場合は、称賛する場を設ける。 | | | | | | | 体づくり部 |
| | ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ●運動習慣の改善や定着化 | ●「健康に食事は大切である」と考える児童90%以上 ●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童70%以上 | ・個に応じて給食量を調整させるとともに、食の大切さを適切に学ばせる。 ・運動の特性を理解させ、苦手な運動を授業の一部に取り入れ、体づくりに親しむようにする。 | | | | | | | |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 | ・業務の効率化を図り退勤時刻を設定(退勤時刻18:00)し、時間外勤務時間月平均45時間以内を目指す。また、定時退勤日を設定し、確実に実施する。 | | | | | | | 教務部 |
| | ○信頼される教職員としての意識の向上 | ○コンプライアンス意識を高めるとともに服務規律の保持・徹底を図る。 | ・「服務ゼロの日」を月2回設定し、コンプライアンス意識の向上と服務規律の保持徹底について振り返る。 ・危機管理マニュアルの見直しと報告・連絡・相談の徹底、関係機関と連携する。 | | | | | | | |
| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 主な担当者 | | |
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | | 評価 | 意見や提言 |
| ○開かれた学校づくり | 地域や保護者に対する学校生活の様子や学校行事などの周知 | ・授業参観への保護者参加率80%以上 ・学校ホームページの更新週に1回以上 | ・学校行事等への案内状を随時発行し、学校行事への関心を高める。 ・土曜参観、「仁比山祭り」、フリー参観等は地域に積極的に参加を呼びかける。 ・学校ホームページの更新と充実を図る。 | | | | | | | |
| ○安全・安心な学校づくり | 児童の安全意識や危機回避能力の向上 | ・ヘルメットの着用率、防犯ブザーの携帯率100% ・交通事故発生件数ゼロ ・生活事故発生件数ゼロ | ・ヘルメットや防犯ブザー着用・携帯推進について、保護者向け文書の中で通知し、意識を高める。 ・交通安全教室や学級指導を通して、自転車の乗り方や歩き方の指導を行う。 ・全校朝会や学級指導においてルールとマナーを周知させ、遊具の適切な使い方、室内での過ごし方について継続的に指導し、安全確保に努める。 | | | | | | | 安全指導□ |
| ○特別支援教育の充実 | ○個に応じた特別支援教育を関係機関と連携 | ○日ごろの児童の様子(生活、学習)を細かく観察し、教師間及び支援員と情報交換したり校内委員会で協議したりしながら個に応じた支援を行う。 | ・特別支援協議会を開き、個別の支援・指導の現状や方向を確認する。 ・必要に応じて専門機関・保護者を交えた支援会議を時機を逃さず実施する。 | | | | | | | 特別支援教育□ |
| ●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 | | | | | | | | | | |
| 5 総合評価・ 次年度への展望 | | | | | | | | | | |